

「資本と地域」編集委員会からのお知らせとお願い

平素より地域経済研究会紀要「資本と地域」には、多大なるご支援、ご協力を頂いておりますことを編集委員会より御礼申し上げます。

地域経済研究会紀要としての「資本と地域」は、2004年の創刊以来13年にわたり、京都大学大学院経済学研究科・岡田知弘ゼミ所属の大学院生の論文や研究会会員の方々の研究発表の場として刊行を続けて参りました。しかしながら、2019年3月末日に岡田先生が京都大学をご退職されることとなり、研究会設立当初の発行趣旨の1つであった岡田ゼミを修士課程で卒業する院生の優秀な論文を発表する場としての役割は縮小し、研究会紀要としての新たな展開をめざすこととなります。

編集委員会では、岡田先生の退職記念号となる「資本と地域」第14号の編集方針づくりを進めるとともに、地域経済研究会の場において、第15号以降の新たな編集委員会体制の構築と誌面構成、発送方法についての検討を行っているところです。

これまで、「資本と地域」の掲載原稿については、会員の皆さんから、様々なご意見やご提案をいただいております。それらをもとに、現在のところ、以下のようなラインナップで、豊かな誌面づくりとその継続を図りたいと考えております。

1. 会員の方々の論文、研究ノートの投稿
2. 会員の方々の活動報告
3. 会員の先生方のゼミで行った調査研究の投稿
4. 会員の指導するゼミ生（大学院を含む）の優秀な卒業論文（修士論文）の推薦
5. 地域経済研究会例会で開催された書評会の内容紹介
6. 地域経済研究会例会で開催されたシンポジウム等の内容紹介

会員の皆様におかれましては、ご自身の研究発表の場としてだけでなく、指導する学部・大学院ゼミ生の研究成果の発表の場として、ぜひ「資本と地域」を活用して頂ければ幸いです。

どうぞ今後とも、「資本と地域」の編集・発行へのご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

2018年3月吉日
「資本と地域」編集委員会